

## 西脇市消費生活センター No.180 正しく知って賢く使おう!除菌・消毒商品

☎22-3111(防災安全課内)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、「除菌・消毒」をうたった商品が数多く販売されています。中には正しく使用しないと効果がなかったり、健康に害を及ぼす成分が含まれていたりするものがあり、全国の消費生活センターには、これらの商品に関する相談が寄せられています。除菌・消毒をうたう商品の主な成分は次のようなものがあります。

### ◆エタノール

除菌剤などに含まれる最も一般的な成分。手指の消毒に使用できます。消毒には濃度70%以上95%以下が推奨されています。エタノールと名前がよく似た「メタノール」は人体への毒性が高く、手指の消毒には絶対に使用してはいけません。

### ◆次亜塩素酸ナトリウム

家庭用塩素系漂白剤の成分。濃度を0.05%になるように水で薄めることで、ドアノブや机等の消毒に使用できます。手指の消毒には適していないのでご注意ください。

除菌・消毒に関連する商品を購入するときは、商品に含まれる成分や手指消毒への使用可否などの使用方法をよく確認しましょう。



日本へそ公園にある気象庁のアメダス。ここで全国一の暑さを観測。

**全国1位になりました!**  
今年の夏は、本当に厳しい暑さでした。そして8月30日には、NHKはじめ全国放送のニュースで「西脇市が39・2度 全国一の暑さ」と流れました。何でも「全国1位」は宣伝にはなるのですが、近年、このような地球温暖化の影響により、ゲリラ豪雨や強い台風が発生、米国カリフォルニア州の森林火災の延焼による災害など、今までにない環境の変化が顕著に出ています。

先日、表彰された西脇市消防団元団長の東田新吾さんのことが、新聞に掲載されました。東田さんは近所ごみ焼きの火が燃え移ったことを聞き、適切な初期消火を行いました。東田さんの30年にわたる消防団での活動により備わった初動が、民家への延焼を防いだと思います。

西脇市は平成19年に西脇建設業協会と初めて協定を結んで以来、さまざまな災害に備え、各種企業や関係機関と応援協定を締結しています。物資供給や避難所開設など、その数は現在56になります。

このたびのコロナ感染症でもそうですが、どこかで何かが起こると、「日頃の備えの大切さ」を改めて感じることが出来ます。地球温暖化をはじめとする環境の変化により、どこでどんな災害が起こるか分かりません。

市民の皆さまも、日頃から災害時に備えていただきますようお願いいたします。



西脇市長 片山象三

## 市長からの手紙

西脇を元気に!!

81

## あぐりコラム 18

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線322)



市内各所で色づく酒米・山田錦の稲穂

### 山田錦の消費拡大を

西脇市の特産品・山田錦は、全国の酒蔵で高品質な日本酒に醸造され、国内外で広く親しまれています。また、今年初めには市内に酒蔵が復活したことで、多地域から大きな注目を集めています。

拡大する新型コロナウイルス感染症の影響で、外食を控えたり、イベントの自粛が重なったりしました。これまで、日本酒の多くは飲食店で飲まれることが主でしたが、最近ではインターネットを利用し、自宅にしながら参加する「オンライン飲み会」や、日本酒の魅力や歴史を学びながら楽しむ「ウェブ飲み」などが人気に。自宅で日本酒を消費することで、酒蔵や酒米の生産農家を応援しようとする動きが盛んになりつつあります。また、市内に進出した株式会社萬乗醸造では、酒米である山田錦を「食べる山田錦」として商品化し、新たな消費拡大にも取り組んでいます。

間もなく、山田錦は刈り取りの時期を迎えます。収穫の秋に思いをはせて、市内産山田錦で造られた日本酒を味わってみませんか。



▲パソコンを使ってグループワークも実施 (令和元年度)

# 好きです!! にしわき わたしのふるさと

## 心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

### 小中学生の学習方法が多様化 ICT機器を活用した「新しい学び」へ

受験や就職、検定試験の申し込みや乗り物の予約など、さまざまな場面でインターネットを利用することが当たり前前の時代になりました。それに伴い、私たちの生活にはパソコンやタブレット、スマートフォンといったICT機器を使いこなす力、また、そのためのインターネット環境の整備が必要不可欠になっていきます。機器の利用はさらに進み、便利な世の中になる一方、自分の学習や仕事、生活に活用する力を身に付ける必要があります。

#### 1人1台、パソコンを整備

現在、全国の小中学校では国による教育施策「GIGAスクール構想」が進められています。これは1人に1台のパソコンを整備し、授業や家庭学習、学校生活のあらゆる場面で機器を使い、情報収集・取捨選択をしながら、自分の考えを持ちたり伝えたりする力を育む、新しい学びのことです。西脇市では子どもたちがこれからの時代を豊かに生き抜く力を育み、子どもたちの可能性を広げる教育を推進するために、1人1台のタブレット型パソコンを貸し出し、学習で活用します。

#### 家庭学習でも活用を

現在、機器を持ち帰って家

庭学習でも利用できるような準備を進めています。また、学校からの連絡手段としても活用し、感染症等による臨時休業などの緊急時には、家庭での学習を支援して、子どもたちの学びを保障します。

#### 学習支援コンテンツを充実

家庭での利用にはインターネット環境の整備が必要ですが、環境が未整備な家庭には、市がモバイルルーター(インターネット利用のために接続する無線機)の貸し出しを実施します。

児童生徒や保護者に役立つ「学習支援コンテンツ」をまとめ、市ホームページで公開しています。

◆問合せ 学校教育課(市役所内線526)

## 心のスケッチ

138

## 人権教育課コラム

咲かそう! 人権文化の花を西脇の地に

皆さんは「西脇市人権教育協議会(市人教)」を知っていますか。

前身の西脇市同和教育協議会の発足から61年、市人教は西脇市に暮らす全ての人の人権が保障され、笑顔で生活できるまちづくりを目指している組織です。地域や学校園、企業などが手を取り合い、協力しながら互いの人権を尊重し、ともに生きる社会を実現するための取り組みを進めています。

毎年8月には身近な暮らしを見つめる機会になればと、市人教は市や各地区と連携して多文化共生、障害のある人、部落問題など、さまざまな人権課題に関する講演会を開催。各地区から100人以上の参加があり、期間を通して約1,400人が「人権への気付き」を感じる場となっています。

どちらもやむを得ず中止することになりました。そこで、自宅の人権への思いを巡らせてもらおうと、市人教は市とともに「人・命・絆」をテーマとした標語やエッセイ、ポスター作品を募集。子どもから高齢者まで幅広い年齢の方から、思いのこもった作品が多数出品されています。このように市人教では、市や関係機関と連携し、人権に触れる機会をさまざまな手段で提供し続けており、ホームページでは「咲かそう! 人権文化の花を西脇の地に」をスローガンに多様な活動を掲載しています。

兵庫県人権啓発協会によると、人権文化とは「お箸やお風呂が『日本の文化』として私たちの生活に溶け込んでいくように、人権への適切な配慮や行動が日常生活に自然な形で根付いているさま」とあります。そのために、「他人事」も「自分事」として想像する力を身に付けることが必要です。そのきっかけとして、市人教の取り組みに参加してみませんか。(人権教育課)

どちらもやむを得ず中止することになりました。そこで、自宅の人権への思いを巡らせてもらおうと、市人教は市とともに「人・命・絆」をテーマとした標語やエッセイ、ポスター作品を募集。子どもから高齢者まで幅広い年齢の方から、思いのこもった作品が多数出品されています。このように市人教では、市や関係機関と連携し、人権に触れる機会をさまざまな手段で提供し続けており、ホームページでは「咲かそう! 人権文化の花を西脇の地に」をスローガンに多様な活動を掲載しています。